

平成29年度

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

事業計画書

平成29年3月

公益財団法人浜松国際交流協会

平成29年度事業の方針

背景

2016年から2017年にかけて、人手不足の日本社会において外国人労働者をどのように受け入れるのかという出入国管理政策が大きく展開した。2016年末の国会において、技能実習制度の適正化の法案と「介護」の在留資格を新設する入管法の改正案が成立し、2017年1月には「外国人技能実習機構」が設立され、制度が動き始めた。特に介護分野については、技能実習の職種としても加えられた他、留学生が介護に関する専門の資格取得後に介護の在留資格に変更して働けるようになるなど、大きな変化があった。

一方、子どもの教育に関して「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律（教育機会確保法）」が昨年末に成立した。この法律は不登校児童生徒に対する教育機会の確保や夜間中学など義務教育段階での教育機会の確保を総合的に推進しようとするものであるが、この基本理念の中で、年齢又は国籍に関わりなくその能力に応じた教育機会の確保と教育水準の維持向上が図られるようにすることと明記されていて、画期的である。その他、外国人の子どもの教育に関する施策については、小中学校での日本語指導担当教員の配置を2017年度から手厚くするなど、具体的な進展が見られる。

重点事項

事業実施に当たっては、昨年度に引き続き外国にルーツをもつ青少年を支援するための「外国につながる次世代支援事業」に重点をおいて行う。外国人の若者が社会で活躍するためには、「外国にルーツを持つ青少年のキャリア支援」が欠かせない。また、日本生まれの外国にルーツを持つ子どもが増えていることから、生まれてから小学校入学までの子どもたちの実態について調査し、親を含めた必要な支援を考えるための、「外国にルーツを持つ就学前の子どもと保護者の子育て支援」事業を新たに行う。これにより、不就学ゼロ作戦や若者のための学習支援を含めて、生まれてから就職するまでの途切れのない支援体制を構築し、浜松市が進める多文化共生都市としての充実が図られると考える。

外国人との協働による防災対策については、昨年度に引き続き重点事項の一つとして取り組む。今年度は災害時多言語支援センター設置運営訓練のほかに、センター運営マニュアルについて実態に即した改定を行う。

また、今年度は当協会が昭和57年（1982年）に任意団体として設立してから35周年の節目の年となる。この機に、浜松市の国際化の流れとともに発展し、多文化共生都市・浜松市の取組をリードしてきた当協会の変遷をまとめ、他都市や今後の参考になるよう、また市民の多文化共生社会づくりへの理解を促進するような記念誌をまとめる。

組織運営

今年度は協会の中期計画更新の年となる。外国人を取り巻く環境が大きく変化している昨今、その状況を見極め、的確に対応していくことが一層求められている。その中で事業を計画的に展開するためには、取り組む人材の育成が最も重要である。その認識の下、次期中期計画を策定し、組織体制の充実を図っていく。

公益財団法人浜松国際交流協会

総事業予算 102,820 千円（法人会計を除く）

相談事業 14,706 千円

多言語生活相談、出張相談、ワンストップ相談(入国管理)、法律相談・行政書士相談・
税務相談、メンタルヘルス相談、中国残留邦人支援、ソーシャルワーク研修

日本語学習支援事業 11,782 千円

日本語教室、支援者養成講座、支援者のためのポルトガル語講座、教職員多文化共生講座
地域日本語学習支援

外国につながる次世代支援事業 11,087 千円

外国人の子どもの不就学ゼロ作戦、若者のための学習支援

【重点】外国にルーツを持つ青少年のキャリア支援
**【新規・重点】外国にルーツを持つ就学前の子どもと
保護者の子育て支援事業**

地域共生事業 1,812 千円

地域共生活動支援、モデル地区支援

多文化防災事業 5,084 千円

災害時多言語支援センター設置訓練、災害時支援ネットワーク構築

【重点】災害時多言語ボランティア・地域と連携した災害時訓練

多様性を生かしたまちづくり事業 3,549 千円

グローバル人材の育成と活用 3,177 千円

国際理解教育セミナー、地球人教育出前講座

国際交流と国際理解の推進 7,315 千円

国際交流・国際理解イベント、グローバルフェア、外国語講座、フェアトレード啓発

地域創造の担い手の育成と支援 8,109 千円

ボランティアバンクの活用、補助金交付事業、市民団体ネットワークの構築と活用

情報収集・提供 13,505 千円

HICE NEWS、ホームページ、フェイスブック、メール配信、情報コーナー

新規：多文化共生都市ビジョン改定にあたる調査事業

【新規・重点】記念誌作成事業 (3,500 千円)

HICE 設立 35 周年にあわせ、多文化共生都市・浜松市の特徴や変遷、外国人
市民のライフストーリーなどをまとめ、市民の多文化共生への理解を深めるよ
うな冊子を作成。記念式典等も行う。

多文化共生センター共通経費 11,370 千円 / 学習支援センター共通経費 11,324 千円

多文化共生のまちづくり

48,020
千円

グローバル人材育成

32,106
千円

グ
ロ
ー
バ
ル
生
活
の
実
現
の
材
料

1 多文化共生のまちづくり

■相談事業（14,706千円）

<p>多言語生活相談 <small>（委託：多文化共生センター事業）</small></p>	<p>各国語や各国文化に精通した相談員を配置し、生活相談を行う（対応言語／ポルトガル語、英語、スペイン語、中国語、フィリピン語）。また、学校や教会など外国人市民が集まりやすい場所に出張して相談会や講習会を行う（出張相談会）。必要に応じて、関係機関と連携して個別支援を行う。</p>
<p>ワンストップ相談 <small>（他機関連携）</small></p>	<p>多文化共生センター内に設置される入国管理局（入国・在留手続き相談）のブースとの連携のもと、外国人に対しワンストップでの相談体制を敷く。</p>
<p>法律相談 行政書士相談 税務相談 <small>（自主事業）</small></p>	<p>静岡県弁護士会及び静岡県行政書士会西遠支部の協力のもと、弁護士・行政書士による多言語通訳付きの相談会を月1回実施。 東海税理士会との共催で、在住外国人の確定申告の支援を行う（2月実施）。</p>
<p>メンタルヘルス相談 <small>（委託：浜松市）</small></p>	<p>ブラジル人心理士2名を配置。メンタルヘルス相談や相談機関、医療機関への受診の際の通訳を行うほか、様々な機関と連携して出張相談やセミナー、相談員のための研修会としてペアレントトレーニング研修等を実施する。</p>
<p>中国残留邦人支援 <small>（委託：浜松市）</small></p>	<p>中国語のできる支援相談員を区役所に派遣し、中国残留邦人の帰国者を対象にした相談を行う。必要に応じて医療機関への通訳派遣等も行う。</p>
<p>ソーシャルワーク研修 <small>（委託：多文化共生センター事業）</small></p>	<p>外国人相談員や通訳者などのスキルアップのためにソーシャルワーク研修を行い、多様化する外国人市民からの相談への対応の充実を図る。加えて、講座を通して外国人リーダーと顔の見える関係を構築する。</p>
<p>外国人コミュニティエンパワメント <small>（委託：多文化共生センター事業）</small></p>	<p>外国人コミュニティを対象として、日本で生活していく力をつけるための講座やセミナーを開催する。外国人コミュニティとの協働で行うことで、ネットワークの強化を図る。</p>

■日本語学習支援事業 (11,782 千円)

<p>日本語教室の実施 (委託：学習支援センター事業)</p>	<p>生活者としての外国人のための日本語教室を開講する。地域住民と良好な人間関係を構築するための基礎的な日本語が学べる初級クラスや初中級クラス、読み書きクラスを行う。</p> <p>外国人が浜松市へ転入してすぐに日本語が学べるようウェルカムパックへの案内の封入を行い、一年を通じて開催する読み書きクラスでもれなく受け入れを行っていく。</p> <p>また、学んだ日本語を現場で実際に使い、スムーズな社会参加へとつなげる目的の初中級クラスでは、プロジェクト・ワークを行い実践的な内容を行う。修了者には、U-ToC サポーターとして後輩学習者のサポートを行う機会を作る。</p> <p>昨年度取り出して行っていた若者向けのクラスは、上記一般クラスに統合し、一体感を持って日本語教育を行う。</p> <p>全ての教室は、HICE 日本語ボランティア有志の会 (With U-Net) と協働で運営を行う。</p>
<p>日本語学習支援ボランティア養成講座・ 日本語学習支援者スキルアップ講座 (委託：学習支援センター事業)</p>	<p>在住外国人に日本語支援や放課後学習支援を行うボランティアを養成する。養成したボランティアを、U-ToC 読み書きクラスの支援者として登用するほか、地域の放課後学習支援団体につなげるコーディネートを行う。</p> <p>講座は、HICE のボランティア組織である日本語ボランティア養成講座運営委員会 (ネクスト) と連携して行う。</p>
<p>外国人支援者のためのポルトガル語講座 (委託：学習支援センター事業)</p>	<p>支援者や教職員等を対象に、コミュニケーションの助けとなる初歩的なポルトガル語やブラジル文化を学習する講座を行う。</p>
<p>教職員多文化共生講座 (委託：学習支援センター事業)</p>	<p>教育現場において外国につながる子どもたちへの指導スキル向上のために、夏休み期間中、教員のための多文化共生講座を開催する。今年度は、浜松市教育委員会の行う外国人指導者リーダー研修 (仮) と連携し、実際に外国人指導担当教員への講座とする。</p>
<p>地域日本語学習支援事業 (委託：学習支援センター事業)</p>	<p>学習支援団体へ日本語教師やボランティアを紹介したり運営相談を行ったりするなど活動の側面支援と、外国人コミュニティ (フィリピン・ベトナム) や浜松市北部地区 (浜北・天竜) での学習支援教室の開講を支援する。また、企業内日本語教室のコーディネートも行う。</p>

■外国につながる次世代支援事業（11,087千円）

<p>外国人の子どもの不就学ゼロ作戦 (委託：学習支援センター事業)</p>	<p>外国人児童生徒の不就学をなくすための訪問調査を行うとともに、学校へのつなぎや情報提供、就学準備支援を行うなど、子どもにとって最善の選択ができるように支援する。</p> <p>不就学の原因として福祉や医療の領域に重なることも少なくないため、今年度は支援が必要な家庭に対する適切な支援計画を立てられるような仕組みづくりに着手する。</p> <p>外国人学校へスクールカウンセラーを派遣し、外国人児童生徒らの学習環境や生活環境について状況を把握する。また、公立小中学校や専門機関等と連携し、発達相談に応じる。</p>
<p>重 外国にルーツを持つ若者のキャリア支援</p>	<p>義務教育期後の外国人青少年の職業意識の醸成や自らの将来を考えるための研修、就業や進学に関する情報の提供など積極的なキャリア支援を行う。</p>
<p>新 重 外国にルーツを持つ就学前の子どもと保護者の子育て支援</p>	<p>人生の根幹を形成する乳幼児期を含めた就学前の外国人の子どもの実態について把握するとともに、子育て支援も含めた支援策を考える。</p>

■地域共生事業（1,812千円）

<p>地域共生活動支援 (委託：多文化共生センター事業)</p>	<p>自治会等からの様々な相談に対応するとともに、文書翻訳、通訳派遣、仲介など共生のためのコーディネートを行う。また、自治会役員と共生についての意見交換を行う「地域共生自治会会議」を開催する。</p>
<p>モデル地区支援 (委託：多文化共生センター事業)</p>	<p>外国人集住地区などにモデル地域を設定し、日本人・外国人住民が協働して地域づくりを行うことに対し、積極的な入り込み支援を行う。</p>

■多文化防災事業（5,084千円）

<p>重 災害時多言語支援センターの設置訓練 (委託：多文化共生センター事業)</p>	<p>浜松市との協定に基づき、災害発生時に設置する「浜松市災害時多言語支援センター」の設置訓練を、これまで養成した災害時多言語ボランティアを活用して行う。また、センター運営マニュアルの実態に即した改定を行う。</p>
--	--

<p>災害時支援ネットワークの強化 (委託：多文化共生センター事業)</p>	<p>自治会、外国人支援団体、外国人コミュニティ等の中で、日頃から顔の見える関係を築き、災害に備えたネットワークの強化を図る。</p> <p>また、東海北陸地域国際化協会連絡協議会や全国の国際交流協会と連携した広域支援体制に基づき、連携がスムーズにいくかの検証を、訓練等を通じて行う。</p>
--	--

■多様性を生かしたまちづくり事業（3,549千円）

<p>多文化共生MONTHの実施 (委託：多文化共生センター事業)</p>	<p>文化の多様性を都市の活力としていくため、多文化共生MONTH（マンス）を10月に設定し、積極的に多文化共生に関する啓発を行い、市民の理解促進と「多文化共生都市“浜松”」の発信を図る。</p>
<p>地域活性化事業 (委託：多文化共生センター事業)</p>	<p>観光や産業分野など地域を活性化する様々な分野で在住外国人など多様性を持つ市民がその特性を生かして活躍できるよう、移民二世代の若者や留学生などを対象とした人材活用セミナーなどを行う。特に二世代の若者については、彼ら自身のグループ活動支援などを通じて当事者のエンパワメントも視野に入れながら行う。</p>
<p>多様性の豊かさの情報発信 (委託：多文化共生センター事業)</p>	<p>在住外国人向けに多言語で文化芸術活動やイベント、スポーツ活動について案内を行ったり、日本人向けにエスニックビジネスなど在住外国人の活動について案内をするなど、様々な文化の多様性にふれることで地域が活性化するような機会を提供する。</p>

2 グローバル人材の育成

■グローバル人材の育成と活用 (3,177 千円)

<p>国際理解教育セミナー (委託：多文化共生センター事業) (自主事業)</p>	<p>国際理解教育に関する講座やセミナーを開催することにより、次世代のグローバル人材を育成する。</p> <p>さらに、学校や社会教育現場が講座を企画する際の企画段階からのアドバイスやコーディネートを行う。</p>
<p>地球人教育出前講座 (委託：多文化共生センター事業)</p>	<p>多様な文化的背景を持つ外国人市民や、企業人や青年海外協力隊として海外での経験を積んだ日本人市民など地域の人材を活用し、国際理解教育の講師として市内の学校や社会教育現場へ派遣する。</p>

■国際交流と国際理解の推進 (7,315 千円)

<p>国際交流・国際理解イベントの開催 (委託：学習支援センター事業) (自主事業)</p>	<p>市民が国際交流や国際理解、多文化共生に接する機会としてイベントや講座を開催する。開催にあたっては、国際関係機関や外国人コミュニティ、市民活動団体と協働することにより、イベントを通してネットワークの強化も図る。</p> <p><予定事業></p> <p>「声楽家・本多厚美のコミュニケーション講座」「多言語 de クッキング」「フェスタ・ジュニーナ (ブラジルの収穫祭)」など</p>
<p>グローバルフェア (自主事業)</p>	<p>国際理解のための一大イベント。特に、こどもたちが世界に接する機会として開催するとともに、在住外国人の参加も促進する。基調講演や、国際理解教育ワークショップとともに、ワールドステージ、世界の料理・文化体験など多彩な催しを行う。市民グループやクリエート浜松と共催。当協会の設立 35 周年記念事業も同時開催。</p>
<p>外国語講座 (自主事業)</p>	<p>市民の国際交流活動を促進するために、基礎語学講座 (初級) と語学サロン (中級) を開講する。国際理解・国際交流事業との連動により受講者の増加を図る。</p> <p><開講予定の言語></p>

	<p>英語、タイ語、インドネシア語、ベトナム語、スペイン語、ポルトガル語、フランス語、ロシア語など</p> <p><語学サロン></p> <p>キッズ English（新）、世界の E-文化など</p>
<p>国際協力事業</p> <p>(自主事業)</p>	<p>市民団体「はままつフェアトレードタウンネットワーク」と連携してフェアトレードを啓発・促進する事業等を行う。</p>

■地域創造の担い手の育成と支援 (8,109 千円)

<p>ボランティアバンクの活用</p> <p>(委託：多文化共生センター事業)</p> <p>(自主事業)</p>	<p>ホームステイのコーディネートや市内で開催される国際的なイベント等への通訳派遣のほか、国際理解講座や日本文化・外国文化の紹介など様々な場面で HICE ボランティアバンクの活用を行う。</p>
<p>補助金交付事業</p> <p>(浜松市補助金)</p>	<p>市民による多文化共生、国際交流、国際理解、国際協力活動を支援するため、多文化共生・国際交流推進事業費補助金を交付する。</p>
<p>市民団体とのネットワークの構築と活用</p> <p>(委託：多文化共生センター事業)</p> <p>(自主事業)</p>	<p>多文化共生や国際交流活動を行う市民団体とのネットワークを強化し情報の共有を進めることで、活動の活性化と支援体制の充実を図る。</p> <p>さらに、市民団体との連携による事業実施や団体間の仲介・マッチングにより、連携のさらなる強化を図る。</p>

■情報提供（13,505千円）

<p>HICE NEWS 等広報物の発行</p> <p>(自主事業)</p>	<p>HICE の活動や国際交流・多文化共生に関する情報を提供する機関紙「HICE NEWS」を発行する。</p>
<p>Web 活用による情報発信</p> <p>(委託：多文化共生センター事業) 共生センター、学習センターホームページ</p> <p>(自主事業) HICE ホームページ、Facebook など</p>	<p>多文化共生センター、学習支援センター、浜松国際交流協会の3つのホームページサイトを運用する。</p> <p>また、フェイスブックやメールマガジンの活用のほか、HICE 会員、ボランティア、市民活動団体・外国人コミュニティネットワークへの一斉配信により、多言語での情報発信を行う。特に、外国語の情報発信については Web 上で行う効果が高いため、重点的に行う。</p>
<p>情報提供コーナーの運営</p> <p>(委託：多文化共生センター事業)</p>	<p>情報提供ボランティアを配置し、国際交流等に関する様々な情報を提供する。</p>
<p>図書コーナーの運営</p> <p>(自主事業)</p>	<p>国際交流、多文化共生、国際協力、国際理解などのテーマに関する図書や外国語の図書・資料の収集と貸し出しを行う。</p>
<p>記念誌作成及び「多文化共生のあゆみ」作成</p> <p>(自主事業)</p>	<p>HICE 設立 35 周年を記念し、HICE がこれまで取り組んできた国際交流や多文化共生事業の取り組みについて、浜松市の歴史とともに振り返った冊子（記念誌）を作成する。記念誌には HICE の取組のみならず、外国人集住都市である浜松市ならではの特徴的な事象（経済、ポップカルチャー、教育など）を調査した結果や、外国人住民や日本人支援者らへのインタビューや写真などを掲載し、市民の多文化共生への理解を深めるような冊子にする。</p>
<p>多文化共生都市ビジョン改定調査</p> <p>(委託：多文化共生センター事業)</p>	<p>「浜松市多文化共生都市ビジョン」の改定にあたり、関係団体等への聞き取り調査や意見徴収のための会の開催などを行う。</p>

新
重